

発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
向井正雄
八尾市高美町5-3-4
TEL(072)992-0119
FAX(072)992-7722
H26-66



平成26年度中河内地区支部
消防総合訓練

任命式

平成 26 年 4 月 1 日 (火) 八尾市文化会館「プリズムホール」で消防団員の任命式が挙行され、20 名の新団員が誕生しました。
新団員の抱負を伺いました。



- 氏名 (所属)
- ① 職業
 - ② 趣味
 - ③ 消防団員としての抱負



寒川 純子 (団本部)

- ① サービス業
- ② カラオケ
- ③ いざという時に、少しでも役に立てるよう、日々訓練していきたいと思っています。



鳥羽 由紀 (団本部)

- ① 主婦
- ② 旅行
- ③ 先輩に続き、女性消防団員として日々努力し、応急手当指導員の資格取得に向けても努めてまいります。



中谷 美和子 (団本部)

- ① 一般社団法人八尾市観光協会
- ② 旅行・まつり
- ③ 地域を守る女性消防団員として女性ならではの、きめ細やかな対応ができるように心がけたいと思います。また、応急手当指導員の資格を取得し、頑張っていきたいと思いま



小山 友梨子 (団本部)

- ① 会社員
- ② 映画鑑賞
- ③ 地域に愛される女性消防団員をめざして、女性だからこそ活躍できる分野に挑戦していきたいと思っております。



川西 舞 (団本部)

- ① 学生
- ② バスケケットボール
- ③ 学生である自分には不安ですが、少しでも地域のために役立てるよう、元気に楽しみながら頑張ります。



後根 健一 (久宝寺)

- ① 会社員 (営業)
- ② ソフトボール
- ③ 地域防災に少しでも貢献できるように、消防団員として頑張っていきたいと思えます。



中西 翼 (久宝寺)

- ① 会社員 (トラック運転手)
- ② ドライブ
- ③ 生まれ育った地元町の一人でも多くの方に防災・防火意識を持っていただくよう、諸先輩方と力を合わせて頑張りたいと思います。



吉田 勝己 (西郡)

- ① 大阪ガス
- ② 車
- ③ 地域の若い力が必要な消防団なので、これから若い人に消防団に入ってもらえるようにしていきたいです。



棚田 秀行 (西郡)

- ① 建設会社社長
- ② 海釣り
- ③ 地域の安全を守り地域防災活動を主にやって行きたいです。



澤田 広二 (西郡)

- ① 高校校務員
- ② バイク
- ③ 地域を守る消防団員を育てて行きたいと思えます。西郡分団を盛り上げて行きたいです。



西尾 淳 (八尾)

- ① 建築業
- ② アウトドア
- ③ なにか、人の為、自分の為に小さなことでも、役に立つ事があればと思ひ消防団に入団しました。今後は地域を守る消防団員として頑張っていきたいです。



山中 努 (八尾)

- ① 会社員
- ② スキー
- ③ 安全第一で怪我のないように消防団員として頑張ります。



中村 道弘 (八尾)

- ① 自営業
- ② 河内音頭
- ③ 人団して日が浅いですが、先輩達が積み上げてきた過去の素晴らしい活動を受け継ぎ、少しでも地域の安心と安全に貢献できればと考えております。



中東 正行 (龍華)

- ① 自営業
- ② 旅行
- ③ 地域の皆様の安全に貢献出来る様、災害時には率先して活動出来る様に、頑張っていきたいと思えます。



北野 智傑 (大正)

- ① 会社員
- ② 散歩
- ③ 生まれ育った地域の防災に貢献できるように、精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。



櫻井 康一 (大正)

- ① 自動車整備士
- ② スキー
- ③ 消防団員として、地域のお役に立てるように頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。



辻井 正夫 (山本)

- ① 会社員
- ② 釣り
- ③ 地域を守る消防団員として、誇りを持ち、与えられた役割を果たせるよう、精一杯頑張っていきたいと思えます。



渡瀬 太一 (山本)

- ① 理学療法士
- ② 旅行
- ③ 生まれ育った町の消防団員として、少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思えます。



岩阪 将男 (山本)

- ① 会社員
- ② 山歩き
- ③ 脈々と受け継がれてきた消防団と心意気を胸に生まれ育った地域の安全・安心を守るよう頑張っていきたいです。



川田 靖 (山本)

- ① 会社員
- ② 旅行
- ③ 微力ながら、少しでも早く、地域の防災活動に役立てるよう精一杯頑張っていきたいと思えます。



消防団基礎(初任)教育訓練

平成26年6月8日(日)大阪府立消防学校において実施された消防団基礎(初任)教育訓練に参加しました。

午前中は、行進・敬礼等、団員動作の基本となる規律訓練があり、続いて、ホース搬送や延長、筒先などの資機材取扱い方法、また、実際に水を出しての放水訓練も行われ、放水時の基本姿勢などについて教えていただきました。

午後からは、消防団の概要や団員の権限等の組織制度について講義があり、訓練が終了しました。



短い時間でしたが、消防に関する基礎的な知識と技術を習得することができ、ようやく消防団員としてのスタートを切ることができたように思います。

これからも、ここで習得した知識・技術を精一杯活かし、先輩団員に負けないよう、団任務に努めていきたいと思えます。

(久宝寺分団 中西 翼)

消防団初級幹部教育訓練

平成26年6月8日(日)大阪府立消防学校において、泉南地区支部と河内地区支部の消防団合同で初級幹部教育訓練が実施されました。

はじめに徒手搬送、訓練礼式を実施し、昼食を挟んでロープ結索をして教室に移り安全管理についての講義を受講しました。

徒手搬送では、とび口と毛布を利用した簡易担架の作り方などを教えていただき、訓練礼式では、教官の号令で基本的な動作を反復練習しました。

ロープ結索では、もやい結びなどを教えていただき安全管理の講義では、現場での事故などの映像を観せていただき、いかに現場が危険であるかを再認識しました。

私も今年4月に班長となり、分団

の半数以上が後輩団員となりました。

市民の生命・身体・財産を守ることがもちろんのこと、まずは、自分達を守るように私自身率先して反復練習し、後輩団員に基本訓練と安全管理の大切さを指導徹底していきま

(大正分団 西山 孝文)



幹部視察研修

平成26年6月19日(木)

時に死亡事故も含め、我々の生命と財産を脅かす存在である雷。

今回の視察研修は、国内唯一の雷対策専門メーカーとして知られている音羽電機工業の研究施設「雷テックノロジーセンター(兵庫県尼崎市)」に行ってきました。

この施設では、雷が発生する仕組みや雷対策製品について学ぶことができ、世界最大級の雷試験設備では、雷の大迫力な光と音に改めて雷の脅威を感じさせられました。

そして私たちの生活が、避雷器や避雷針などの免雷技術により守られていることを実感することができました。

雷の発生を止めることはできませんが、被害を最小限に抑えるためには、他の自然災害と同じように、日頃からの心構えが重要です。今回の研修からそのことを改めて学ばせていただきました。

(久宝寺分団 岡井 淳治)



高機能消防指令センター運用



消防本部は3月4日から高機能消防指令センターの運用を開始しました。

今回の消防指令システムは従来の指令システムの耐用期限が迫っていた事に加え、電波法の改正により平成28年5月までに無線設備のデジタル波への移行が義務付けられていた事から、平成23年度からシステムの基本設計が行われ今回の導入に至ったものであります。

消防デジタル無線の最大の特徴として、秘匿性の向上・通話音質の向

上・音声のみではなく文字やデータ通信により迅速・的確に作戦を立て展開する事が可能になった事があげられます。

昨今、個人情報保護の観点から通信の秘匿性を向上する事は喫緊の課題となっておりましたが、新システム移行により通信を傍受されにくくなり、これまでよりも一層円滑に消防・救急活動をする事が可能となりました。

指令卓更新・消防車両等の無線機やデータ通信用モニターの設置や旧指令室を大幅に改装し、大規模災害発生時には速やかに作戦室を設置できるようにするなど従来よりも一層効率的かつ機能的な指令システムに生まれ変わりました。

今回の更新に伴い、八尾市内が一望できるJR久宝寺駅前のメガシテイタワー東棟屋上に高所カメラが2台設置され消防本部指令室から逐一災害発生場所の状況を把握する事が可能となり、カメラの目視による指令室の判断で増援部隊を出す事ができるなど災害による被害を最小限にする事が可能となりました。

また本署配置の現場指揮車にもデジタルビデオカメラを搭載した現場映像伝送装置も構築され、音声とデータによる迅速・的確な部隊運用を可能にする事ができました。

消防団におきましても車両の無線機器の更新が行われた他、署活系と呼ばれる携帯無線機が複数新規配備され運用を開始しております。

これにより災害現場に於いて常備消防・消防団という垣根を越えて一体的に運用する事が可能となりました。

真新しくなった無線機器等を余すこと無く活用し、安全安心な八尾市を作っていく事を消防職・団員とも決意を新たに今後とも活動してまいります。

(曙川分団 金武 正亮)

女性消防団員による防火診断

平成26年5月25日(日)消防職員と合同で一般家庭の防火診断を行いました。

主に、火の元・電気配線・住宅用火災警報器の設置状況について確認をしたのですが、単に法令を伝えるのではなく、各ご家庭の諸事情を考慮した上で、柔軟性を持って取り組む事が大切だと感じました。

先ずは火の元。コンロ周りに燃えやすい物が無いか確認。ゴム製のガス管にはアルミホイルを巻くなど、燃えにくくする工夫を伝えました。

次に電気配線。ついつい過剰になりがちですが、時折、抜いて掃除するなど、火災予防の方法を提案しました。

そして住宅用火災警報器。これにおいては設置場所が違っているご家庭もしばしばみられ「こちらに」と具体的に指し示し、理由を説明します。お年寄りの家では、高い位置に取り付けてある警報器の正常作動を確認しました。

さらに、一軒一軒の住人数を控え、災害時に備えていた事も、印象的でした。

今回の活動では、地道な努力の重要性とすべての住民の防火意識の大切さを強く感じました。

ひとりひとりのちょっとした心掛けが、身近で手軽な、そして有効な防火対策ではないでしょうか。

(団本部 鳥羽 由紀)



土曜スクール

平成 26 年 5 月 31 日 (土) に北山本地区の防災訓練を行いました。

今年度より小中学校の土曜スクールが始まった事もあり、平日昼間に地震が発生した想定で北山本小学校の児童、先生方と地域の住民合同で行う八尾市で初めての試みとなりました。

朝 9 時、地震発生のお合図のサイレンが鳴ると児童達は校庭に避難、地域の人たちは各町会の集合場所に集合した後キリン公園に移動。お年寄りも多くおられ、避難場所である小学校まで誘導補助を要請、要請を受けた小学校の 6 年生がキリン公園に駆けつけ、お年寄りを介助しながら小学校に避難しました。

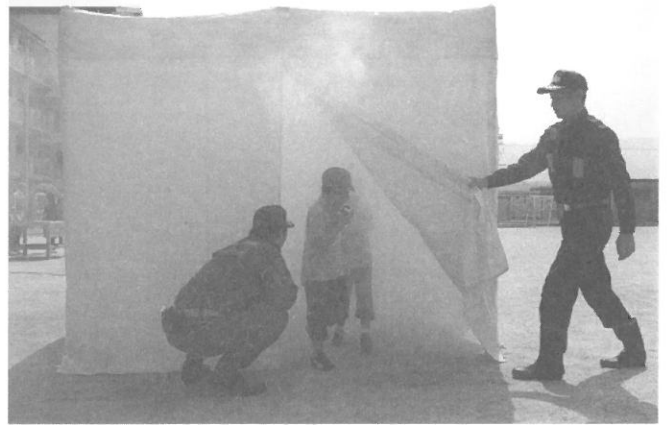
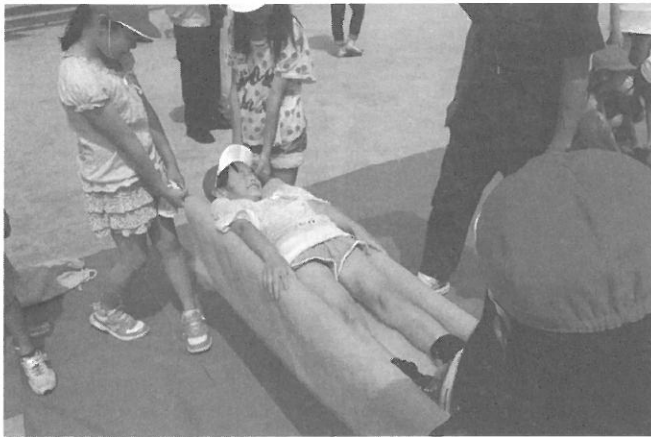
その間 1~5 年生は煙中体験や仮設トイレの組立て等を体験。

その後、避難してきた 6 年生と地域の人も加わって体験しました。

バケツリレーは競争して子供達も楽しそうでした。

最後に消防団の放水で訓練は終了しました。とても良い経験をさせてもらいました。有難うございました。訓練に参加した小学生に感想を聞いていますので紹介します。

(山本分団 岩崎 孝次)



【岩崎 陸人くん (四年)】

今日、防災訓練をしました。煙中体験や担架を作ったりしました。担架は、長い棒と毛布を使用し、自分達で作りました。煙中体験は煙で何も、見えませんでした。それで怖かったから手を動かして出口からやっと出れました。火事の際は、怖いので大変だなと思いました。消防団の放水も見れて良かったです。



【山野 晋作くん (五年)】

最初に、煙中体験をして良い匂いにして面白かった。次に仮設トイレを組み立てるのがすごく簡単ですぐ組み立てれました。

【山野 康成くん (五年)】

仮設トイレを作るのがすごく楽しかったです。煙の体験室はプリンのお匂いだったので、すごく気持ちよかったです。しかも涼しかったです。

【辻井 奏真くん (五年)】

最初に、煙体験をして、「もう出口かな」と思ったけど、歩いてても歩いてても出口が来なかった。煙の中では、出口が遠く感じられました。そして分かったことは、しゃがめば前が見やすくなるということです。次に仮設トイレを組み立てた時に、消防の人たちが分かりやすく教えてくれたのです。すぐに作ることが出来ました。地震が来たときに仮設トイレが役に立ったらいいです。また、地震が来たときにすばやく作れたらいいと思います。

そして暑い中、土曜日にもかかわらず、消防の人達がわざわざ来ていただき、ありがとうございました。また、地域の人もわざわざ来ていただきありがとうございました。

もし、地震が来たら習ったことを活かし、役に立てたいです。ありがとうございます。

Thank you so much. See you.

恩智川水防訓練



平成26年4月26日(土)東大阪市の花園多目的遊水地に於いて恩智川水防事務組合主催の恩智川水防訓練が行われました。「恩智川水防事務組合」とは恩智川の決壊・洪水に備える組織で、八尾・東大阪両市で構成されておりです。

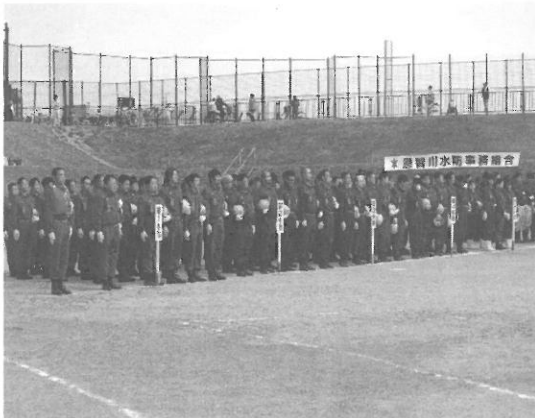
地域によっては、専任の水防団員で構成される水防組合もあります。恩智川水防事務組合は、八尾市と東大阪市の消防団員が兼任しております。訓練には八尾市消防団から南方面隊の南高安分団・曙川分団より指揮者を含む総勢21名の団員が参加しました。

訓練は、南高安分団畑中分団長号

令のもと規律正しく迅速に展開されました。

水防工法には、様々な工法があるのですが、今回八尾市が担当した工法は「積み土のう工法」と呼ばれる一般的な工法です。写真を参考にさせて頂ければ判りやすいのですが、これは土のうを横一列に積み上げて中に土を敷き詰め、また後方を土のうで固めるという工法です。制限時間は20分。この短い時間の中で土のう200袋を作り次々と敷き詰めていく作業になります。八尾市消防団は20分の制限時間内に工法を終了する事が出来、後の来賓者等による巡視においてもお褒めの言葉をいただきました。

(曙川分団 金武 正亮)



大阪府地域防災演習

平成26年5月24日(土)藤井寺市の大和川右岸河川敷に於いて、大阪府・大阪市・国土交通省近畿地方整備局主催のもと、大阪府地域防災総合演習が行われました。官民28機関から多数の人員・車輛が参加し、大規模な訓練となりました。

訓練想定は5月18日に発生した台風の影響で、西日本に停滞していた梅雨前線を伴い北上し時間雨量100ミリを超える局地的な豪雨となったことに加えて高潮も重なり河口部では、大幅に水位が上昇し、大和川の各所で、堤防が決壊する等の甚大な被害が発生したという訓練想定のもと、水防関係機関が動員し、懸命の水防活動を行うという設定で、訓練は開始されました。

この訓練も八尾市消防団は、恩智川水防事務組合水防団として参加し、恩智川水防訓練に引き続き南方面隊より、南高安分団・曙川分団から指揮者を含む総勢21名の参加となりました。

今回は、府の総合演習という事から、淀川左岸水防事務組合・淀川右岸水防事務組合・大和川右岸水防事務組合・泉州水防事務組合等の府下全ての水防事務組合が参加しての演習ですので、水防工法も多岐に渡りま

す。

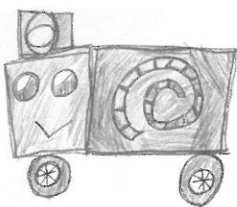
八尾市消防団は今回、全15工法の中から先月の恩智川水防訓練と同じく「積み土のう工法」を用いての訓練となりました。

今回の訓練では、土のうを300袋使用しましたが、見事制限時間内に完成させる事が出来ました。



(曙川分団 金武 正亮)

さいわっち



中河内地区支部消防総合訓練
規律訓練出場隊員感想



平成26年7月27日(日)大阪府中部広域防災拠点で行われる規律訓練の小隊長に任命されました。

た。警防課員の熱心な指導のもと、消防団活動に必要な規律の保持と迅速かつ的確で、秩序ある行動を身に付ける訓練を南西方面隊31名、そして応援団員の皆さんと一丸となり取り組みました。最初は、号令を掛けるタイミングに戸惑いもりましたが、団員に対し一連の動作に的確な号令を掛け、迅速に行動出来るように心がけて行ってきました。出場団員も基本動作と訓練全体の一連の動作を何度も反復練習しました。訓練を重ねる毎に、完成度が増し、大会本番では八尾市消防団の団結力をアピールすることができました。



平成26年7月27日(日)大阪府中部広域防災拠点にて中河内地区支部消防総合訓練が晴れやかに

に開催されました。規律訓練の練習は5月13日より、毎週火・金曜日に行われました。最初は皆との呼吸が合わず、列の乱れやミスの連続でしたが、練習を重ねるにつれて、徐々に呼吸も合うようになりました。本番当日では越智小隊長を中心に円陣を組み、「八尾市消防団フアイト!」「オー!!」と天にも響き渡るかのような掛け声とともに、皆の気合十分に規律訓練が始まりました。結果は皆の団結により、練習以上の成果を出し切り素晴らしい規律訓練を終えることが出来たと思います。



平成26年7月27日(日)大阪府中部広域防災拠点、中河内地区支部消防総合訓練が行われ、南西

方面隊の一員として規律訓練に参加しました。おおよそ2ヶ月半という長い期間、週2回訓練を行ったその成果を発表する時がいよいよ来ました。越智小隊長を中心に円陣を組み、「八尾市消防団フアイト!」「オー!!」の掛け声で規律訓練が始まりました。駆け足で整列したところから、「これまでの訓練と違うぞ!」と思いました。姿勢や機敏な動き、歩調のタイミング、手の振り方、掛け声の大きさのどれもが、これまでの訓練の中で最高でした。訓練が終わると「やったーやり切った!」という安心感でほっとしました。そして、指導頂いた消防本部警防課の皆さんや、団員のみんなと握手をし、肩を抱き合うと、自然と胸に熱いものが込み上げてきました。このような貴重な経験をさせて頂いたことに感謝すると共に、訓練で得たものを今後の消防活動に活かし、地域防災に取り組んでいきたいと、改めて決意しました。



今回の規律訓練に出場するにあたり志紀分団及び大正分団から選抜された31名の中に入り、計

20回の規律訓練をおこないました。私は、今回が2回目の出場ということで、前回よりもすばらしい訓練ができるという期待と自信で訓練が始まりました。しかし、暑い中何度も何度も一連の動作を反復練習をしましたが、なかなか息が合わず苦労し、改めて団体の行動の難しさを実感しました。最後に訓練を指導して下さった本部の皆さんとサポートしていただいた両分団の方々に感謝いたします。

お知らせコーナー

(平成26年度の消防団行事)

- 10月 広報誌発刊
- 10月 中級幹部科教育訓練
- 11月 署・団合同ポンプ操法訓練
- 11月 秋の火災予防運動
- 11月 消防団員健康診断
- 11月 防火フェスティバル
- 11月 恩智川水防視察研修
- 11月 厚生事業
- 12月 歳末警戒
- 12月 避難困難高齢者訪問調査
- 12月 消防出初式
- 1月 防災とボランティア訓練
- 1月 文化財訓練
- 3月 春の火災予防運動
- 3月 防火防災展
- 3月 消防記念日式典
- 3月 大阪府消防表彰式
- 3月 広報誌発刊



編集後記

広報部員ならびに、各方面の皆様のおかげで、無事34号発刊となりました。記事の提出、取材から構成までスムーズに進みました事、心より御礼申し上げます。有難うございました。(竹下 健一)

※ご意見・ご要望がございましたら、お気軽に広報部員まで!!

◎ 広報部員名簿 ◎

- 委員長 山本分団 竹下 健一
- 副委員長 龍華分団 兼山 泰治
- 委員 志紀分団 松本 直也
- 久宝寺分団 赤岩 孝浩
- 西郡分団 藤原 道洋
- 八尾分団 内田 一博
- 八尾分団 渡邊 勝規
- 八尾分団 鈴木 卓也
- 八尾分団 東野 泰治
- 龍華分団 妹尾 吉哲
- 大正分団 戸澤 勝彦
- 大正分団 竹田 豊茂
- 曙川分団 金武 正亮
- 南高安分団 北林 文善
- 南高安分団 長峰 宏輔
- 高安分団 黒岡 貞一
- 高安分団 坂上 大介
- 高安分団 樋口 雄一
- 山本分団 清水 大輔
- 山本分団 岩田 兼一
- 志紀分団 澤田 賢一